



平成 16 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 アルゼ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 阿南 一成  
(登録銘柄・コード 6425)  
問合せ先 執行役員管理本部長 小林 輝彦  
電話番号 03-5530-3055(代表)

平成 17 年 3 月期中間・通期業績予想の修正、特別損失の発生及び中間配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成16年8月13日付「平成17年3月期 第1四半期業績の概況及び中間期業績予想の修正について」にて発表いたしました、平成17年3月期中間期及び通期業績予想を下記の通り修正するとともに中間配当を見送ることとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 17 年 3 月中間期の業績予想 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)

(1) 個別

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益	1 株 当 り 中 間 配 当 金
今回発表予想 (A)	24,171	104	7,548	0 円 0 銭
前回発表予想 (B)	42,600	4,500	2,000	30 円 0 銭
増減額 (A - B)	18,429	4,396	9,548	30 円 0 銭
増 減 率 (%)	43.3%	97.7%	-	-
(参考)前年同期	69,289	28,572	15,256	30 円 0 銭

(2) 連結

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
今回発表予想 (A)	36,024	1,307	6,731
前回発表予想 (B)	57,400	5,800	1,800
増減額 (A - B)	21,376	7,107	8,531
増 減 率 (%)	37.2%	-	-
(参考)前年同期	79,377	26,530	12,492

( 3 ) 平成 17 年 3 月中間期業績修正の理由

( 個別 )

上期においては、昨年来開発を進めていた新機種申請のすべてが許可されず、パチスロについては販売するものが少なく、競争能力を発揮することが出来ないという極めて厳しい状況に陥りました。パチンコについても業界初の 20 インチ透明液晶ディスプレイ機「CR 雀帝倶楽部」が製造過程において主要パーツの供給に問題が生じたため、計画が大きく未達に終わりました。9 月に販売開始したパチンコ機「CR 花火」も目前になった新基準のパチンコ機の買い控えムードの市場になり、売上も目標を下回り、その結果当中間期の売上高は個別で 241 億円、連結で 360 億円に止まりました。

このような事態を深刻に受け止め、特に規則改正前にある在庫品についてその削減策に関して次の様な決断を行ないました。当社は従来から 12 ボルト単一電源化や、部材の共通化によるコストダウンを推進しております。これまでの在庫部材は利用可能と考えておりました。しかし、今回の風俗営業法規改正を機に、これまでに開発した在庫部材を使用すべきか、又、今後のビジネスの展開を思い描いた時、これらの在庫の使用がどのように影響するのかが、様々な角度から検討致しました。その結果、今後の当社のビジネス展開上共通性のある部材のみを活用することが有利に働きえるとの判断を行い、在庫の評価減を決定致しました。(尚、今回の特別損失には、液晶パネル等、価格が下落傾向にある部材の評価減も含んでおります。)

このように当中間期で棚卸資産評価損等で 104 億円、そのほか滞留債権について貸倒引当金積み増し等で 9 億円、更に、子会社株式の評価替 10 億円など積極的に行なった事により特別損失は総額 138 億円となりました。その結果法人税等調整額控除後の中間純利益は 75 億円の損失になる見込です。

( 連結 )

国内連結子会社の殆どが親会社の販売不振の影響を受け、売上、利益ともに予想を大きく下回りました。一方連結子会社アルゼUSAを通じて 27.6%出資しているNASDAQ上場のWynn Resorts, Limitedの株価は順調に推移しております。今年度同社は 268 百万ドルの増資を行ないました。その結果、当社の持株比率が増資前より 2.2%低下したため、持分法会計適用によるみなし売却益として、約 47 億円が連結決算で特別利益として計上されています。

これらのプラス要素はあるものの国内子会社の売上不振と親会社と同様に棚卸資産の評価替を積極的に行い特別損失を計上したため、売上、経常利益、中間純利益ともに大幅に減少し、業績予想の修正が必要となりました。

## 2. 平成 17 年 3 月期の業績予想（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

### (1) 個別

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
今回発表予想（A）	81,600	14,500	300
前回発表予想（B）	160,800	41,900	22,900
増減額（A - B）	79,200	27,400	22,600
増 減 率（％）	49.3%	65.4%	98.7%
（参考）平成 16 年 3 月期	79,491	9,738	1,723

### (2) 連結

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
今回発表予想（A）	104,000	13,200	400
前回発表予想（B）	191,500	46,000	23,100
増減額（A - B）	87,500	32,800	22,700
増 減 率（％）	45.7%	71.3%	98.3%
（参考）平成 16 年 3 月期	101,077	8,399	156

### (3) 平成 17 年 3 月期通期業績修正の理由

下期に関し、10 月 2 日より改正前に許可を取った新パチスロ機「ガッツだ!!森の石松」の受注を開始しました。「ガッツだ!!森の石松」に加え、今期中の販売スケジュールとして、パチスロ 2 機種、パチンコ 3 機種の発売を予定しております。

本年 7 月の風俗営業法規改正により、パチスロにつきましては、よりゲーム性が高まるものと考えられます。ゲームを楽しむ顧客層が新たなパチスロユーザーとなり、ゲームソフト開発に対する技術力がメーカーの評価を決するものになると考えられます。

更に当社は、顧客ニーズに沿った新たなビジネスモデルの確立を目指し、一歩進んだ形のパチスロのレンタルでの提供を、今期中の開始で検討しております。

一方、上期業績不調であった子会社についても各々売上見通しがたっており、下期だけで単体、連結ともに売上は上期の倍以上の数字を予定しております。その結果上期の損失はすべて吸収し、通期では経常利益は個別で 145 億円、連結で 132 億円、当期純利益は個別で 3 億円、連結で 4 億円になる見込です。

しかしながら上期の業績落ち込みが大きかったため、通期についても計画に対して売上、経常利益、当期純利益ともに下方修正することになりました。

（注）上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なることがあります。

## 3. 配当

中間配当については見送り、期末配当については当初計画通り一株当たり 30 円の維持を予定しております。

以 上